



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

2012.8.10.№1077.

ご相談はお気軽に
TELとも FAX 3905-0970

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

■クレスカフ
高齢者あんしんセンター
(やまとぎやや西が丘園)
で、配布しています。
ぜひ、活用して
みて下さい。



朝のあいさつ 左から 山崎たるる議員、池内さおりさん
<王子駅南口> そねはじめ前都議

民自公トップが密室談合重ねて くらしを壊す消費税増税を強行 **国民不在の暴挙に抗議します!**

- 消費税増税反対の世論が過半数以上、今国会での強行に反対世論が6割以上という、国民の声をふみにじて、民自公は「早期成立」で合意(8/8)をしました。
- 民意にも公約にも反する大増税を、民主・野田政権と自民院の谷垣総裁・公明党の山口代表が密室談合で国民に押しつける暴挙に、私は抗議します。

日本共産党など内閣不信任案(衆院)、
向賀決議案(参院)と8日に提出されました。

東京北社会保険病院を拡充させる会が 8/4(土)赤羽北区民センター 第5回総会を開催



全国ネットワークの 公的病院こそ

- しかし、民主党政権の小宮山厚労相は昨年12月、川崎社会保険病院と健康保険鳴門病院(徳島県)の売却を指示していました。その結果、川崎社保病院は民間に売却されて地域医療体制が壊れる事態となっています。鳴門病院は自治体に譲渡され、自治体立病院となりました。
- 昨年(2011)6月17日、RFO(整理機構)から新たな組織化と移行させるための新機構法が成立了。
- 同会は、法の施行日を1日も早く確定して、①病院の売却は許さない②3.11以後の教訓を生かして、③全国ネットワークの公的病院として、新たな組織に移行させることをめざす大きな活動をつづけてきました。
- ことしから3年後の平成27年(2015)完成までに63床増やすなどの拡張工事がはじまりました。④同会は、平成26年4月1日に、RFOから公的病院経営の役割担う新しい組織を必ず求めています。

北社保病院は増床、 機能拡充にむけて

高齢になても安心して住みつけられるまちにしたい!

(※北区には多くの軍事施設があり、戦後はその多くの土地に、公的住宅が次々と建設されました。それが高齢化の1要因に。)

「東京民報」2012年8月5日号より

4人に1人が65歳以上の北区
23区で初めて高齢化率25.03%

ことし 東京都が、人口に占める65歳以上の人割合を発表
4/1現在

ことし 北区の人口は31万7,663人
4月1日現在 65歳以上は7万9503人

桐ヶ丘1丁目は51.8%
桐ヶ丘2丁目は49.2%
<H23.4.1.現在>

桐ヶ丘団地建替え問題 「住民の会」都に要請

① 8月8日、桐ヶ丘団地の建替えについて、「住民の会」の代表は都への要請をおこないました。

② 上記のように、23区内で高齢化率が最も高い北区、というニュースの直後もあり、都には、2人に1人が高齢者という実情がみえた。高齢者が安心して住める住宅にしてほしいの声が次々と出されました。

③ しかし、担当課長は、「世帯人数は調べて1DK、2DKなどの戸数を決めるが、人口構成や介護などの実態は調べていない」と答えたため、住民から批判の声が上がりました。

ゴミ出しや災害のとき 高層住宅は困り物

- 古い建物の14階建てですが、エレベーターがあります。でもね、夏場は生ゴミを朝出すのにしたんですが、1階から14階までは、時間がかかるて大変です。
- 13階とか14階とか、高い建物はやめて、中層とか低層の住宅にして下さい。



小分けにした惣菜を手に持つ米店2代目、加藤さん

あつたかおにぎり、焼きたて魚
お年寄りの声に応え



お年寄りにも環境にもやさしい送迎用三輪自転車=武蔵村山市

「足が悪くて歩けないので、大助かりですよ。」
買い物を済ませ、送迎車の座席にちょこんと座った宇久トシ子さん(80)は、にっこり笑いました。
乗っているのは、2人の客と荷物を積むことができる、電動アシスト付きの三輪自転車。宇久さんはこの日、郵便局に寄つた後、惣菜を3品買つて乗り込みました。

運転するのは、ここに団地ができる以来の住人、新海孝四郎さん(77)。「いつも」とはこの日、郵便局に寄つた後、惣菜を3品買つて乗り込みました。

「つまずいたりして

けがないように気を付けています。利用者から

ありがとうございます。

」

お年寄りを無料送迎

武蔵村山市 村山団地中央商店街

ボランティアで週2日運転手を務めます。エレベーターがない棟の住人に、ドアまで荷物を持って一緒に上がるといいます。「つまずいたりしてけがないように気を付けています。利用者からありがたいと言われると、こっちもうれしくなる」と顔をほころばせます。

送迎自転車は村山団地中央商店街(武蔵村山市)にある「まいど宅配センター」おかねづかステーション」が午前10時~12時、午後1~3時の1日4時間、月~金の週4日運行。市の補助を活用して無料で実施しています。商店や郵便局、診療所、ケアセンターなどに用事があれば、電話で気軽に頼むことができます。

このサービスを始めたきっかけは、商店街代表の比留間誠一さん(63)が、商店街の行き帰りにタクシーを利用する高齢者を見かけたこと。「もつたらないなと思い、店主が交代で車いすを使って送るようになります。

「商店で買い物を楽しみたい。」

さがらレポート
2012.8.10. No.1077.